

周波数の国際協調利用促進事業 令和3年度 継続評価結果

案件名		実施期間	評価会での主なコメント	評価点
地上デジタル放送及び4k・8k技術の国際協調利用促進	地上デジタル放送及び4k・8k技術	H29-R04	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル等の国々において、相手国の実情に適した方式で、実証実験を進めており、評価できる。また、実際に受注実績が積み重ねられており、これも評価できる。 ・日本方式を提案するにあたって相手国の要求条件を十分精査した上で提案するべきではないか。例えばブラジルが2k化での高度化を必要としているところに8kを提案しても受け入れられないのではないか。 ・海外展開の重要拠点であるブラジルで高度化技術の実証が計画されており、今後の各国へと波及する大きな成果が期待される。準備状況を勘案すると機を得た実証実施であり、最終目標を達成するために適切に計画されたものであると認められる。 ・ブラジルで日本型デジが採用されていることから、事業対象地域が中南米に偏重しているように見受けられる。可能性が見込まれる他地域の未開拓市場にもう少し資源を配分する検討をしてもいいのではないか。 ・我が国の検討している次世代方式をグローバルシステムに近づけるには、情報通信審議会での検討を前倒しして、諸外国での早期の導入を前提とした次世代方式（要素技術だけでなくトータルシステム）を先行タイプとして確立し、これをブラジルに早期に提案していくべきと考える。 	3.6
高度道路交通システムの通信技術の国際協調利用促進	V2X (Vehicle-to-X: 車車間通信、路車間通信等) 技術を用いた安全運転支援システム	H30-R03	<ul style="list-style-type: none"> ・同種の実証実験を集約することで効率的な成果が得られたと考えるが、一方で実施しなかったフィリピンでの導入機運が減ることが懸念される。 ・広範な地域で、多くの課題があったにも拘わらず、適切な経費で、ほぼ初期の目的を達成したと言える。 ・実用化検証やインド国内標準規格への取り組みが予定されており、最終成果達成に向けた適切な計画が立案されている。 ・今後、どのような使用方法の導入可能性が高いかを考慮して、モデルを絞り込むことが必要ではないかと考える。当該途上国のすべてのオートバイや自動車に発信機器やRFIDを装着することが現実的な可能性としてあるのか些か疑問を感じた。緊急車両や公共輸送機関等への装着的を絞るということも場合によっては必要ではないか。 ・国際標準化の検討を少なくとも初年度は行ったはずである。この結果を最終的にまとめる必要があり、実施に至った場合その経緯、実施しなかった場合その理由を明確化していただきたい。 	3.9

<p>気象・防災プラットフォーム技術の国際協調利用促進</p>	<p>ダム管理用雨量レーダー (固体素子型)</p>	<p>R02-R05</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限があるため令和 2 年度の事業が遅れているのはやむを得ないが、3 年度の計画を並行して着実に実施すべき。 ・レーダーの制作に着手し、さらに周波数調整等、必要な経費が執行されている。 ・現状の対応として実施計画は十分であると考え。ただし土地の収用やタワーの建設で遅延が発生することも考えられるので、あらかじめそれらの可能性も考慮したほうがよいのではないか。 ・国際標準化は是非進めていただきたいと思う。 ・タイ以外の国への働きかけを前倒しで進めていただきたい。国際標準化について、他社との足並みをそろえることを待つことなく、活動を進めていただきたい。 	<p>3.6</p>
<p>空港交通システムの高度化技術の国際協調利用促進</p>	<p>地上型衛星航法補強システム (GBAS)</p>	<p>R01-R04</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電離圏空間勾配の影響で誤差が生じやすい低磁気緯度での電離圏環境に適応した GBAS について、ASEAN 地域への展開を図るため、同地域において実証実験を行うという目標を、電離圏脅威モデルを導入した上で、地域の特有の問題に対処したうえで、タイおよびベトナムで達成した。 ・人件費の占める割合が大きいような印象があるが、概ね妥当な経費ではないか。 ・重要な実証実験のために令和 3 年度の計画は妥当なものとして評価。 ・電離圏対応モデルを構築して赤道付近の空港に導入するためには、赤道付近の空港での運用実績を作らないと困難と思われる。今回の実証を早期に成功させ、早く売り込める状態に持って行くことが肝要。 ・標準化と差別化のバランスを適切にとる必要がある。技術の優位性をいち早く示して、東南アジアでの安定運用につなげていただきたい。 	<p>4.1</p>